

●インドネシア Tangsi Jaya PJ 活動 (2018-10-10)

コーヒー協会の購買者らが Tangsi Jaya コーヒー農園組合を訪問し、現地スタッフに対し、a) 緑豆を選ぶ方法
b) 焙煎方法 c) 蜂蜜フレーバーコーヒーと一般コーヒーの製造方法 d) 当コーヒー農園組合の製品に特化した
Rasamala ブランドのコーヒー豆製造方法 についてトレーニングを行いました。



コーヒー協会の購買者と現地スタッフ



緑豆の選別状況

一方、今年6月から8月までの3ヶ月間の集計では、コーヒー農園の総面積は25ha(7haの追加)となり、1日の平均250kgのコーヒーの実を収穫し、乾燥コーヒー豆の生産量は2021kgとなり、順調に収穫されております。

●霊山プロジェクト秋の集い (2018-10-26)

「霊山プロジェクト秋の集い」は、10月26日に霊山町の当協会「霊山プロジェクト」地元代表の大沼宅に建設中のジャム製造所と農場・1000Lメタン発酵設備の視察と、合わせてREPA事務局会議が開催されました。

農場では、信夫冬菜、枝豆、落花生、ジャムの実などが順調に生育し、来年の製品出荷に向けて、量的・質的に対応が出来るよう準備が進められています。

午後にはえこえね南相馬研究機構殿が南相馬のNPO法人「あさがお」内に設置された500Lメタン発酵設備の見学と情報交換を行いました。



完成間近のジャム製造所の前で



REPA事務局会議

一般社団法人えこえね南相馬研究機構殿が南相馬市鹿島区のNPO法人「あさがお」内に設置した、稼働中の500Lメタン発酵設備を視察し、研究機構の高橋代表理事から活動紹介をしていただきました。

「東日本大震災、その後の活動」について熱く語られる高橋代表が印象的で、再エネによる実践的な地域活性化が進められているのがよくわかりました。安心できる魅力的な街、将来に繋がる社会作りには共感するところがあります。今後とも情報交換を続けていく予定です。



大豊作の信夫冬菜



落花生畑



たわわに実った枝豆(ずんだ)



500L メタン発酵設備建屋の前で



えこえね高橋代表理事



NPO 法人「あさがお」